

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 29 年 3 月 30 日 (2017.3.30)

【公表番号】特表 2016-516806 (P2016-516806A)

【公表日】平成 28 年 6 月 9 日 (2016.6.9)

【年通号数】公開・登録公報 2016-035

【出願番号】特願 2016-508275 (P2016-508275)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/89 (2006.01)

A 6 1 K 8/06 (2006.01)

A 6 1 K 8/81 (2006.01)

A 6 1 Q 19/00 (2006.01)

A 6 1 Q 1/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 8/89

A 6 1 K 8/06

A 6 1 K 8/81

A 6 1 Q 19/00

A 6 1 Q 1/00

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 2 月 24 日 (2017.2.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

生理学的に許容される媒体中に、水性相および油性相を少なくとも含有するエマルジョンを含む化粧料組成物であって、上記油性相は、下記：

( i ) 99.9 重量%までのシリコーンエラストマーおよび 0.1 ~ 10 重量%の界面活性剤からなるコンパウンド、ここで上記界面活性剤は、C<sub>10</sub> ~ C<sub>18</sub> 脂肪族アルコールのポリオキシエーテルから選択される；

( i i ) シリコーン樹脂で被覆されたシリコーンエラストマー粉末、および

( i i i ) アルキル(メタ)アクリレートモノマーを少なくとも含むポリマーを含有するフィラー

を少なくとも含み、コンパウンド( i )のシリコーンエラストマーが粉末( i i )と異なるところの組成物。

【請求項 2】

生理学的に許容される媒体中に、水性相および油性相を少なくとも含有するエマルジョンを含む化粧料組成物であって、上記油性相は、下記：

( i ) 界面活性剤と会合した形態で存在するシリコーンエラストマー、

( i i ) シリコーン樹脂で被覆されたシリコーンエラストマー粉末、および

( i i i ) アルキル(メタ)アクリレートモノマーを少なくとも含むポリマーを含有するフィラー

を少なくとも含み、( i )のシリコーンエラストマーが粉末( i i )と異なるところの組成物。

【請求項 3】

油中水型 (W/O) または多層 (O/W/O) エマルジョンの形態である、請求項 1 または 2 に記載の組成物。

【請求項 4】

(i) のシリコンエラストマーおよび界面活性剤が、30 ~ 1000 の範囲のエラストマー/界面活性剤の乾燥重量比で会合している、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 5】

(i) の界面活性剤と会合したシリコンエラストマーが、上記油性相に分散した水性小滴中にある、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 6】

分散した水性小滴中のシリコンエラストマーが、部分的にまたは全体的に架橋されたエラストマー状オルガノポリシロキサン粒子である、請求項 5 に記載の組成物。

【請求項 7】

上記シリコンエラストマーが、組成物中に、0.1 ~ 30 重量%の範囲の活性物質質量で存在する、請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 8】

(i) のシリコンエラストマーと会合した界面活性剤が、4 ~ 12 個のオキシエチレン単位を含む、ポリエチレングリコールと C<sub>12</sub> ~ C<sub>16</sub> 脂肪酸とのポリマーから選択される、請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 9】

シリコン樹脂で被覆されたシリコンエラストマー粉末の粒子が、0.1 μm ~ 500 μm の範囲の平均サイズを有する球形である、請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 10】

シリコン樹脂で被覆されたシリコンエラストマー粉末の粒子が、ビニルジメチコン/メチコンシルセスキオキサンクロスポリマーのINCI名を有する、請求項 1 ~ 9 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 11】

シリコン樹脂で被覆されたシリコンエラストマー粉末が、組成物中に、組成物の総重量に対して1 ~ 20 重量%の範囲の含有量で存在する、請求項 1 ~ 10 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 12】

アルキル(メタ)アクリレートモノマーを少なくとも含むポリマーを含有するフィラーが、

ポリメチルメタクリレート、

メチルメタクリレートとブチルアクリレートのコポリマー、

メチルアクリレートとエチレンのコポリマー、

メチルメタクリレートとエチレングリコールビス(メタクリレート)の架橋コポリマー、および

メチルメタクリレートとエチレンビス(メタクリレート)の架橋コポリマーから選択される、請求項 1 ~ 11 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 13】

アルキル(メタ)アクリレートモノマーを少なくとも含むポリマーを含有するフィラーが、組成物中に、組成物の総重量に対して0.1 ~ 15 重量%の範囲の量で存在する、請求項 1 ~ 12 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 14】

艶消し剤、多孔性シリカ微粒子、中空シリコン樹脂半球状粒子およびシリコン樹脂粉末から選択される少なくとも1つの追加のフィラーを含む、請求項 1 ~ 13 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 15】

メイクアップベースまたはファンデーションであることを特徴とする、請求項 1 ～ 1 4 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 1 6】

少なくとも下記の 2 の工程 ( a ) および ( b ) :

( a ) 水性相および油性相を攪拌しながら乳化することにより、W / O または O / W / O エマルジョンを調製する工程、ここで外側油性相は、ポリアルキル ( メタ ) アクリレートから選択された少なくとも 1 つのフィラー、および少なくとも 1 つの、シリコーン樹脂で被覆されたシリコーンエラストマー粉末を含有する、および

( b ) 外側油性相に、界面活性剤と会合した形態のシリコーンエラストマーを導入する工程

をこの順序で含む、請求項 3 ～ 1 5 のいずれか一項に記載の化粧品組成物の製造方法。

【請求項 1 7】

皮膚のメイクアップおよび / またはケア方法であって、請求項 1 ～ 1 5 のいずれか一項に記載の組成物を施与する工程を含む方法。